

弾きやすさと音質の良さを備える  
ギブソンアコースティックの定番。



ナット幅 \_  
4.3cm

フィンガーボード長 \_  
43.9cm

ネック幅 \_  
5.3cm  
(12フレットで計測)

全長 \_ 102cm

ボディ幅 \_ 40.7cm



重量 \_ 2.02kg



ボディ厚1 \_  
9.7cm

ボディ厚2 \_ 12.3cm

# Gibson

## Gibson Acoustic J-45 Standard

価格：32万8000円(税別)

1942年に初登場、「ワークホース」の愛称で知られる名器がJ-45だ。ヴィンテージサンバーストで仕上げ、滑らかな曲線を描くラウンドショルダーのボディが多くのアーティストを虜にしてきた。押し出されるように前に出る低音、弾いた時の「ジャキッ、ジャキッ」と鳴る感覚は、これぞギブソンと呼ぶに相応しい音質だ。ポプ・ディランなど数多くの愛用者があり、国内では2013年に斉藤和義のシグネチャーモデルが発売された。

このギターはココを見よ!

DETAIL

1

サイド&バック材



DETAIL

2

ボディトップ材



DETAIL

3

トーン&ボリュームコントロール



DETAIL

4

ショートスケール



1. J-45のサイド&バックに使われるマホガニー。弾力性があり、温かなサウンド特性の材質であることから、サイドやバック材としてもよく使用される。J-45の特徴でもある、丸みを帯びたラウンド・ショルダーのフォルムが見て取れる。2. ボディトップ材は、シトカスプルースが使われている。音が大きくスタンダードな鳴りを実現する材質だ。3. L.R. バッグス VTC がサウンドホール横に標準装備。手元ひとつで、トーンとボリュームを調整することができる。4. 弦長を指すスケールの長さは、弾きやすさに直結する点。ギブソンのギターは「ギブソンスケール」といわれるショートスケールのギターが多く、このJ-45にもギブソンスケールが採用されている。

「キング・オブ・フラットトップ」。  
 迫力あるルックスと音質で知られる



ナット幅 \_  
4.3cm

フィンガーボード長  
44.9cm

ネック幅 \_  
5.4cm  
(12フレットで計測)

全長 \_ 106.2cm

ボディ幅 \_ 43.2cm



重量 \_ 2.42kg



ボディ厚1 \_  
9.7cm

ボディ厚 \_ 12.2cm

# Gibson

## Gibson Acoustic J-200 Standard

価格：58万7000円(税別)

1938年、Super Jumboの名を冠して発売された「J-200」。その後、Super Jumbo 200などモデル名の変更を経て、'47年より現在と同じJ-200となった。モデル名通りジャンボサイズのボディは見た目のインパクトもさることながら、重厚なサウンドを生み出すことに一役買っている。アコギの王様とも称される名器で、古くはエルヴィス・プレスリーといった海外アーティストのほか、国内では忌野清志郎が愛用したモデルとしても知られる

このギターはココを見よ!

DETAIL  
1

ボデイトップ材



DETAIL  
2

サイド&バック材



DETAIL  
3

ロングスケールネック



DETAIL  
4

ブリッジ



1. ギブソン アコースティックの中で最も大きい432mmというボディサイズを誇るSJ200。ボデイトップ材は、J-45と同じシトカスプルースを使う。「王様」と呼ばれる押し出しの強い迫力ある豊かなサウンドを奏でる。2. サイド、及びバック材にはメイプルが用いられるが、発売当初はハカランダが使用されていた。3. 材質にはメイプルが用いられるネック。弦長であるスケールは647.7mmあり、ボディサイズに負けないロングスケールを誇っている。加えて、J-200はサスティーンと呼ばれる音の鳴りの持続性も高い。4. ブリッジの形状もSJの大きな特徴。その形からムスタッシュ（ヒゲ）ブリッジと呼ばれている。ピックガードのデザインも年代により異なる

ギブソン初のスクエア・シヨルダー  
ハニートーンと称されるサウンドも特徴。



ナット幅  
4.4cm

フィンガーボード長  
43.9cm

ネック幅  
5.4cm  
(12フレットで計測)

全長 101.5cm

ボディ幅 40.5cm



重量 2.1kg



ボディ厚1  
9.4cm

ボディ厚 12.4cm

# Gibson

## Gibson Acoustic Hummingbird

価格：45万2000円(税別)

J-45のラウンドシヨルダーで知られていたギブソンが、アコースティックギターとして初めてスクエアシヨルダーを採用して1960年に発売したモデル。ピックガードに描かれる、北アメリカや中南米に生息する小型の鳥「ハチドリ(ハミングバード)」からその名が付いた。特徴でもあるショートスケールの恩恵を受け、ギブソンらしい迫力あるサウンドを楽しむことができ、その音質は「ハニートーン」と称されることもある。

このギターはココを見よ!

DETAIL

1

トップ材



DETAIL

2

サイド&バック材



DETAIL

3

ナット幅+指板



DETAIL

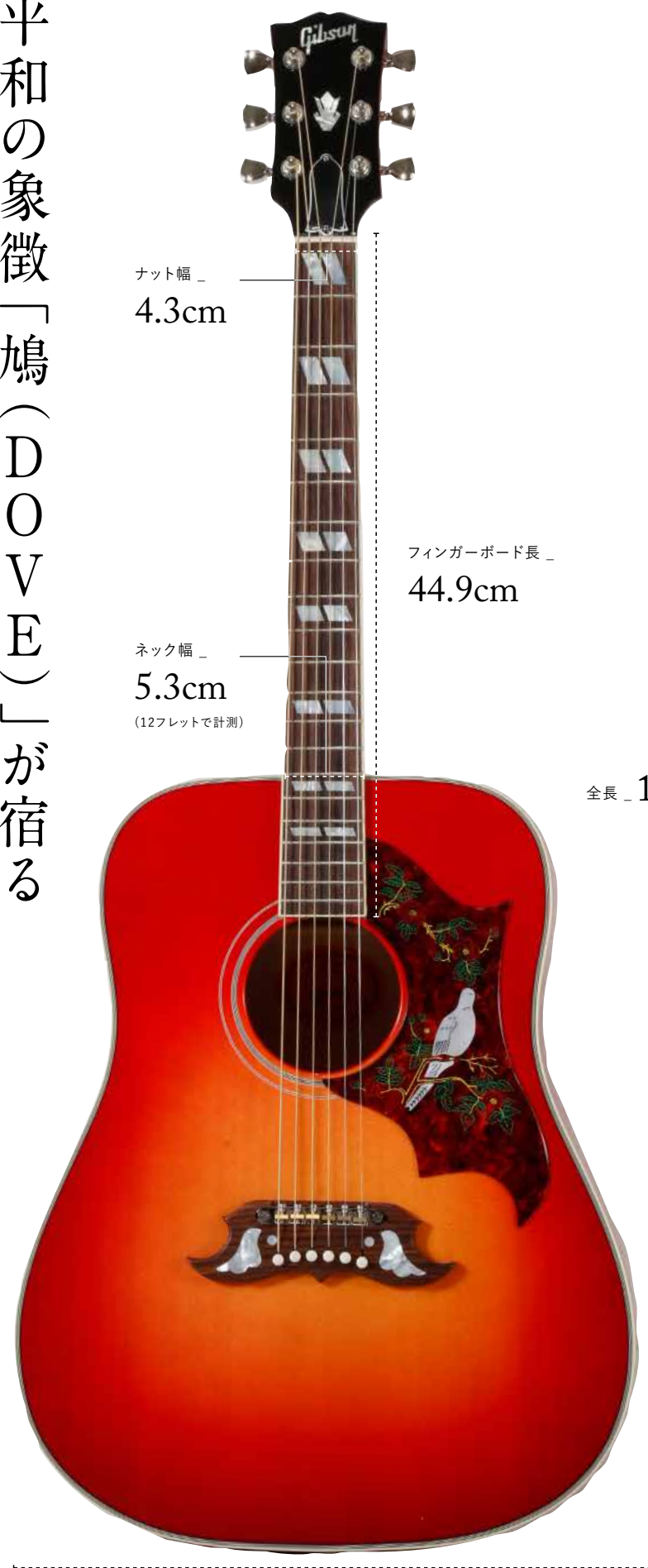
4

ピックガード



1.トップ材にはJ-45と同様スプルース・トップを使っている。2.ハミングバードのサイド、バック材にはJ-45と同じマホガニーが使われている。3.フィンガーボードはローズウッドを採用。指に馴染みやすく、弾きやすい材質とされている。4.シンプルなアッパーベリータイプのブリッジを採用。ハチドリが描かれたピックガードは、その形状も独特のものをもち、発売当初も大きな驚きを持って迎えられた。

平和の象徴「鳩（DOVE）」が宿る  
ハミングバードの上位モデル。



ナット幅 \_  
4.3cm

フィンガーボード長 \_  
44.9cm

ネック幅 \_  
5.3cm  
(12フレットで計測)

全長 \_ 102.1cm

ボディ幅 \_ 40.7cm



重量 \_ 2.12kg



ボディ厚1 \_  
9.9cm

ボディ厚 \_ 12.2cm

# Gibson

## Gibson Acoustic Dove VCS Special

価格：55万3000円(税別)

スクエアショルダーのハミングバードから2年後、1962年にハミングバードの上位モデルとして発売されたのが「DOVE (ダヴ)」シリーズだ。ピックガードに描かれる鳩 (DOVE) がモデル名の由来であり、デザイン的にも大きな特徴になっている。ハミングバードの高級器ということから、サイドやバック材にメイプルを使っている他、ボディ形状はハミングバードと同様だが、ロングスケールを採用しているため、弾き心地や音質が異なる。

このギターはココを見よ!

DETAIL

1

サイド&バック材



DETAIL

2

ピックガード



DETAIL

3

ロングスケール



DETAIL

4

ブリッジ



1. トップ材はハミングバードやJ-45、SJ-200と同じシトカスプルースを使い、サイド、バック材は高級感あふれるメイプルが用いられている。2. ピックガードにはモデル名にもなっているDOVE (鳩) が象徴的に描かれている。3. 指板はローズウッド、ネックにはマホガニーを使用している。4. 特徴あるデザインのブリッジにも、象徴的な鳩がデザインされている。また、サドルにチューンOマチックを採用している点も特徴のひとつだ。